



8月3日(火)に行った協定締結の様子。

車から避難所へ電力を供給

災害時における電力供給等の協力協定を締結

市と石川トヨタ自動車(株)・ネットトヨタ石川(株)は大規模な災害が発生した際の協力に関する協定を締結しました。市内2カ所の販売店舗ではプリウスなどプラグインハイブリッド車からの給電設備を備えており、被災者の一時的な避難所として開放いただきます。車両から供給できる電気は、1台につき約2千台分の携帯電話を充電できる量になるそうです。架谷洋司社長は「災害はいつ起こるかわからない。地域の皆さんの役に立てよう取り組んでいきたい。」と話しました。



電動の書庫なので子どもでも、簡単に動かすことができます。

図書館を楽しもう！

めざせ図書館博士

「市民にもっと子どもの読書に関心を持ってほしい」との願いから、市では7月23日をののいち子ども読書の日と定めています。これに合わせ、学びの杜ののいちカレードでは小学生対象の裏側見学ツアーを実施しました。高さ約9メートルのブックタワーや書庫など普段は入れない場所をめぐるツアーに子どもも保護者も興味津々。自動書庫の開閉操作を体験したり図書館についてたくさん学んだ子どもたちへ、最後には館長から図書館博士認定証が授与されました。



「悲劇を繰り返さないために、伝えていきたい」と話します。

満州開拓団と死の逃避行

県民大学講座「北陸満友会戦争体験講座」

にぎわいの里ののいちカミーノで8月18日(火)、本町地区住民を対象に県民大学講座が開催されました。第一部では金沢大学の小林教授から戦争体験の継承を巡る考察などについて、「原爆の絵を描く高校生」の映像を交えた講演があり、参加者約30人は熱心に聞き入っていました。第二部では市在住の平野悦子さんから、ご自身やご家族の逃避行の体験談が語られました。ソ連軍の満州侵攻から始まる壮絶な実話に、会場の皆が惹き込まれ、涙ぐむ参加者の姿も見られました。



先生が作ったのっティ人形へ絵付け。真剣なまなざしです。

作って触れる九谷の魅力

九谷焼のオリジナルのっティを作ろう！

学びの杜ののいちカレードで8月3日(火)、“のっティ”への絵付け体験が開催され、17人が参加しました。陶芸家の多田利子氏から九谷焼の解説を聞いた後、絵付けを開始。見本を見ながら丁寧に塗る子や大きな模様を入れる子など、皆思い思いにのっティを仕上げていきました。作品は、窯で焼く工程を経て、後日受け取ります。子どもたちは「自分だけののっティが作れて良かった」「出来上がりが楽しみ！」と大満足の様子でした。

まちの話題 Focus

皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。
市民協働課 ☎227-6056

やりたいことをやってみよう！

ボンボン商店街 2021

7月24日(土)、25日(日)の2日間、にぎわいの里ののいちカミーノで消費者教育イベント「ボンボン商店街」が開催され、小学生69人が参加しました。

疑似通貨“ボンク”が流通する子どもたちだけの商店街で、買い物をしたり物を売ったり働いたり、消費者だけでなく生産者や労働者など色々な立場を体験できるこのイベント。ハローワークで求人案内を受けて警察・銀行・造幣局・放送局・新聞社などの職業体験をする人や、起業して自分のお店を始める人など過ごし方はさまざまです。商店街には、自分で作った雑貨を売るお店から、段ボールプラネタリウムやゲームコーナーなどで体験を売るお店など、趣向を凝らした店舗が立ち並びました。途中、警察官役が拳銃を落とすハプニングもありましたが、放送局で呼びかけるなどし、子どもたちだけでしっかり解決していました。



- ①友達と一緒に手作り商品を販売。
- ②大盛況の段ボールプラネタリウム。
- ③一昨年開催された“Bom Bom Town”のキャプテン登場。
- ④拳銃の落とし物を発見した警察仲間が放送局に駆け込み。

目で楽しむ夏の「ののいち椿館」

夏を謳歌 椿館の絵てがみ展

ののいち椿館では、7月31日(土)～8月15日(日)の期間中、夏の絵てがみ展を開催しました。ツバキの開花時期は冬のため、花がないこの時期でも椿館を楽しんでもらうために毎年絵手紙を展示しています。館内を彩ったのは、郷公民館絵手紙サークルによって描かれたツバキのほか、ヒマワリや風鈴など夏を感じるモチーフ。遊びに来ていた野々市小学校4年生と2年生の4人組は、「これ風鈴だ」「なんの野菜かな」と、夏休みの一日を椿館で楽しんでいました。



サークルの会員10人が出品した、70点の力作が並びました。

地元産野菜で野々市 100 パーセント

サマーカレー給食

7月20日(火)、市立小中学校7校の給食で野々市産の食材を使ったサマーカレーが出されました。県立翠星高等学校、地元生産者の皆さんが丹精込めて作ったナスやカボチャ、ヤーコンジャム、野々市産米などを使ったカレーはおいしくて栄養満点。ヤーコンはコンポートにしてフルーツカクテルにも入っていました。御園小4年生の笹山絢さんは「シャキシャキの食感でヤーコンだと分かった。夏休み前に好きなカレーが出てうれしい。」と笑顔いっぱいでした。



すぐに食べ終わっておかわりの列ができました。